



青年革新懇全国交流集会 in 広島

実行委員会結成

孤立と不安を連帯と革新の展望へ

——青年革新懇全国交流会in広島

現地広島実行委員会結成総会 2013年2月11日

3月23・24日に開催される青年革新懇全国交流会 in 広島の成功に向けた広島実行委員会が、2月11日に広島市内で結成されました。



結成総会には、ヒロシマ革新懇の利元事務局長、日本共産党中国ブロックの石村智子国民運動委員長が来賓として参加したのをはじめ、ヒロシマ青年革新懇のメンバーの他、反貧困ネットワーク広島など複数団体から21名が参加しました。

参加者全員が発言した討論の時間では、この日現地実行委員長に承認されたヒロシマ青年革新懇の大橋事務局長が発言。準備から含めて3年間つながりを軸に進めて

来た青年革新懇の活動を振り返り、「今の時期に広島でこの企画を開催するのは、ある意味必然だと感じています。より多くの方に参加してもらうように広げましょう」と、力強くよびかけました。現地実行委員会では今後、準備・宣伝・プレ企画などを開催していく予定です。

なお、会ではこの他、事務局長1名、事務局次長2名、会計1名を承認しました。
(佐々木路生)

結成総会レポート

司会は日本共産党専従の大平さん。

プログラムの説明の後、「今の若者には、他と交流する場がとても少ない。そういう意味でもとても大事な場だし、広島が全国大会をする事もとても重要な事なので絶対成功したい」と、開会のあいさつを行ないました。

来賓あいさつは、まずヒロシマ革新懇事務局長の利元さんから。次いで日本共産党中国ブロック国民運動委員長の石村さん。

その後、議案・提案という事で佐々木さんが発言しました。まず最初に「革新懇とはなにか」という話から入り、ヒロシマ青年革新懇が出来た理由や、知り合いを全国大会につれていったとき、その人が

広島でもやりたいと言ってくれ、うれしくなってやろうと言った事が、全国大会をやろうと思ったきっかけだったという話をしました。

その後、全国大会に向けての体制、実行委員、会計、交流会の流れ等の説明。それから、質疑討論にうつり、「オルグとは何？」という質問から入って、思った事を皆おもしろおもしろにしゃべりました。

そして閉会のあいさつに代表があいさつをしたのですが締めわずか。司会が締めて何とか無事終了しました。
(伊勢真雄)



「マスメディアのあり方」の報告

前回の初回から 6 週間の期間を経た 1 月 16 日、広島市社会福祉センターにおいて、第 97 期第 2 回労働学校が開催されました。元新聞記者・難波健治さんを講師にむかえ、「マスメディアのありかた」というテーマでお話いただきました。参加者の数は、前回より大きく増加し、21 人。以下、割愛しながら報告します。

まずは昨今のメディアの問題点が指摘されました。難波さん自身がさよなら原発・ヒロシマの会の代表もされていることもあり、「原発問題」に関する報道を通してメディア（特にテレビ）の問題点を 2 点指摘されました。1 点目は、メディアが「ただちに影響はありません」と過度に秩序維持に走るという問題。2 点目は、メディアがとる「ダブルスタンダード」の欺瞞性という問題。すなわち第 1 の点と重なりますが、原発の「安全性」を過度に主張する一方で、自らは早々に報道の現場から逃げ出したという、矛盾のことです。

それらのメディアの問題点の表出の背景には 3 つの大きな構造があるとのこと。1 つ目は、戦前との連続性という問題。戦前、戦中、大本営発表をなぞるだけであった新聞社の経営陣を戦後、刷新することなく、政府との癒着の構造が戦後も続いてきたという問題です。2 つ目は、「クロスオーナーシップ」(=新聞社が放送事業等に資本参入すること)を通じた報道規制という問題。新聞と比べてテレビ放送においては「放送法」による規制がかけられており、政府等による統制を可能にする構造があるという問題です。3 つ目は、報道側が持つ「『多数者』重視」という構造です。報道する側は、「男性、健常者、高学歴、高収入、首都圏在住…」

という、質的多数者=「強者」でばかり構成されており、「弱者」を看過、排除する構造があるという問題です。

最後に、「メディアは市民のもの。受け手（読者、視聴者）が育てていく」として、「マスメディアのあり方」についての提言がありました。難波さんの「市民記者クラブ」という記者と市民が一体になった組織の必要性などについても具体的な提言は示唆的なものでした。

なおとところどころで、難波さんの記者時代の経験（教育現場のルポ、広島県行政の汚職事件調査など）から、現場での姿勢、入り込み方、「裏の取り方」などの

「ジャーナリズム精神」についても大変熱く語っていただきました。

講演の後は、参加者で 2 つのグループに分かれて、感想を交えた討論を行いました。討論では、「1 つの記事の裏には記者のさまざまな努力があるということがわかった」、「メディアを監視し、育てていくのは私たちの責任にかかっているということがわかった」などの感想、意見が出されました。

また、会終了後の懇親会でも、難波さんをお迎え、大変熱い議論が交わされ、最後まで充実した会になりました。

(大橋隆広)

2・11 革新懇デー

音楽と講演のつどい

2 月 11 日にヒロシマ革新懇などが主催の「2013 年革新懇デー 音楽と講演のつどい」（広島平和記念資料館地下メモリアルホール）に行ってみました。

革新懇デーって？

はじめに革新懇デーとは何かというお話。

2 月 11 日は祝日で現在では「建国記念の日」です。1966（昭和 41）年に公布・施行されました。あくまでも「建国記念日」ではありません。以前は「紀元節」といって、『日本書紀』が伝える初代天皇である神武天皇即位の日として、1872（明治 5）年に制定され（当初は旧暦 1 月 1 日に当たる 1 月 29 日、翌年から 2 月 11 日に変更）、1948（昭和 23）年に廃止

されました。

神武天皇が即位したのが紀元前 600 年で歴史上ありえないことでもあるし、明治・大正・昭和と天皇主権国家の下で天皇は神格化され、国民の権利制限や戦争に突き進んでいった歴史があったことなどから改めて「建国記念の日」を考えようと 1998（平成 10）年に第 1 回「2・11 革新懇デー」が開催されて以来毎年「革新懇デー」というのが行われているようです。

蓮池透さんの講演

今回の目玉は何といっても蓮池透さん。2004 年に帰国した蓮池薫さんのお兄さんです。拉致被害者家族連絡会元副代表、元東京電力社員。演題は「自滅する原発、行き詰まる拉致」。

蓮池さんは新潟県柏崎市生まれで、



就職がなかなかなかったので東京電力に就職したそうです。入社して福島の原子力発電所や核燃料リサイクルの関係施設で働いたそうです。東京電力に勤務していた元社員という立場からお話いただきました。

福島原発で

福島原発で驚いたのはメンテナンスがほとんどできていないことだったそうです。海から近いので塩分を含んだ風が吹いていたため通気口が固まって、ちょっと蹴ったら壊れたそうです。原発はアメリカの輸入物で、動かし方はアメリカに教えてもらうけど、メンテナンスや非常時の対応などは特に教わることなく導入して後は電力会社任せだったそうです。

新入社員には嫌がらせみたいになんかざ線量計の音が鳴るほど値の高い場所に連れて行って脅かすようなことをやっていたそうです。当時は被曝に対する認識が甘かったため、被曝量が高いようなところで仕事するのが自慢みたいなのがあったそうです。噂のようでは知限りそうだと言われたのですが、原発労働者には男の子ができなというのがあったそうです。蓮池さんのお子さんも全員女の子だとか。

東京電力

報道でも知られているように東京電力の対応が悪い。言い方を変えさせてイメージを和らげようと必死でした。「メルトダウンじゃなくて炉心損傷」など…

東京電力の社員は他の企業に比べて給料が高いと報道されましたが、そんなことはないと言っているようです。給料は高いとは思わないけど、保養地など福利厚生を含めればかなりいい

とは思っておっしゃっていました。結婚式場を当時持っていて、そこで「結婚式をすれば新婚旅行

のお金が貯まるといわれるくらい」ほとんどただで結婚式ができたそうです。企業年金は給料の積み立てのようなもので、東京電力のあらゆるものを削った末にまだ足りないからとお願いされれば引き受け方も違ったものの、企業年金削減に早く手を付けてしまって順番がおかしいとおっしゃっていました。他の企業年金の受給者は違う理由で反対していたようですが。

東京電力はとにかく会社を存続させたい、経営のために原発を再稼働したい、役員報酬もあまりカットせず国から資金援助を受け、電気料金も値上げしてたちが悪い。東京電力は破たんさせた方がいいのではないかと蓮池さんはおっしゃっていました。商売のやり方も「殿様商売」で、原発事故直後の検針ができなかった（ごく一部の地域だけだったらしいですが）ため、前月と同じ料金をとりあえず徴収して、後で調整するというのがあったそうです。普通なら「今回は検針できなかったため、次回に合わせて徴収させていただきます」ということだと。

拉致について

拉致について。2002年に小泉首相のときに訪朝して、拉致被害者が5人帰ってきました。当初一時帰国ということでしたが、そのまま5人は日本に留まりました。政府が日本に残るように説得したとマスコミは報じたいらしいですが、蓮池さんが説得したそうです。スケジュールには土産物の買い物時間も含まれていたそうです。

日本政府は強硬姿勢で圧力と対話だと言っています。家族会はそれに同調あるいはさらなる圧力を迫るような報道が流れています。政府によると、経済制裁などで相手が困りに困って拉致被害者を返してくるのを待っている、その門戸を大きく広げているということらしいです。

家族会は報道されているように強硬姿勢で望んでいるかと言えばそうとも限らない

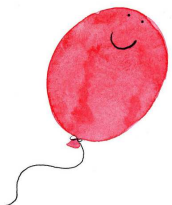
と蓮池さん。家族会の中にもいろいろな意見があって、年月を追うごとに考え方が変わってきた人もいます。マスコミの報道は北朝鮮へもっと強く出ると言わんばかりの報道ばかりをしています。いろんな意見や考え、思いの人がいるので様々であることを報道してほしいとおっしゃっていました。

横田めぐみさんの生存は未だ不明ですがお子さんがいることはわかっています。横田滋さんは北朝鮮に行って孫にだけでも会いたいらしいです。横田咲江さんはそうすれば拉致問題は終わってしまうと恐れているそうです。蓮池さんの意見では会いたいのなら会いに行けばいいと。横田さんが政府に北朝鮮に行きたいと言えばそれは可能だそうです。政府は横田さんが行きたいと言うのを待っている状態で、一方横田さんの方は政府がそれを言ってくれているのを待っているらしいです。

圧力ばかりかけても仕方がない

蓮池さんは拉致問題の解決は圧力ばかりかけても仕方がないとのこと。最終手段は戦争にしても日本は戦争しないから経済制裁は事実上の最終手段なので安易に行使すべきでない、対話を重ねて何とか解決へ努力すべきだとの主張です。

経済制裁をしても実質意味はないそうです。日本が北朝鮮に輸出しないせいで中国が儲かったり、中国経由で日本製品が流通しているそうです。5名の帰国者から10年になりました。経済制裁で拉致問題は進展したかと言えばしていません。10年ということ蓮池さんのとこ



ろへ記者が取材に来るそうです。10年が何の節目だ、この数年の間も絶え間なく取材に来たかと言えば来ていないじゃないかと。拉致問題には時間に限りがある。その人たちが生きている間しか解決はできない、長期戦は無理だとおっしゃっていました。とにかく時間が無い、一刻も早い解決をと訴えていました。また政府は北朝鮮の核問題と強硬姿勢、それと拉致問題をパッケージにして扱うとしていますがそれには

無理があるとおっしゃっていました。北朝鮮の核の問題や強硬的な外交姿勢は国際問題だけど拉致問題は日朝間の問題だから違うと。そうやっているから解決が進まないということもあると。日朝平壤宣言に則りと第1次安倍政権でもその後の福田、麻生、鳩山、菅、野田政権でも所信表明演説で盛り込んでいたのが、今回の第2次安倍政権では消えました。日朝平壤宣言は生存者と死亡者が何名いて、それで拉致問題

は解決したような文言が盛り込まれているので確かに矛盾していますが、このたび発足した安倍政権では日朝平壤宣言に触れなかったということもあり、本当に解決する気があるのかとも思われているようです。日朝平壤宣言には国交正常化を目指すことも盛り込んでいるので、国交正常化と対話の努力が重要だとおっしゃっていました。

(東原光寛)

青年革新懇全国交流会 in 広島 SKZ広島実行委員会

いっしょにやろう！ 宣伝行動

1. 交流会宣伝！街に出ましょ！

原則毎週土曜 14:00 @アリスガーデン(本通りパルコ本館裏)

「これが青年の主張だ！プロジェクト」

①あなたの今一番何とかがしたいこと教えてシールアンケート

②あなたの今一番何とかがしたいこと メッセージ集め

...FB上でも集めるよ。目標 200 人！

⇒ 交流会で結果発表。

③交流会フライヤーの配布

2. 3月3日ひな「祭り」に乗じて1日宣伝！

① 10:00 指定場所(現在未定)に集合

②安佐南区学生アパートを中心にフライヤーをポスティング

③お昼ごはん

④ 13:00 広大周辺学生アパートを中心にポスティング

⑤ 17:00 定例街頭宣伝(3/2土曜の宣伝は、3日にずらします)

⑥終了后感想交流(的な、おつかれさん会)

記録 & 予定

2013年1月

10日 19:00 会議 事務局会議 03 @広島共同センター

20日 20:30 会議 事務局会議 04 @広島共同センター

26日 18:00 会議 会員ミーティング 04 @広島共同センター

2013年2月

7日 20:30 会議 青年革新懇全国交流会 in 広島 (SKZ) 現地実行委員会準備会

9日 18:30 レク お好み焼き(スケートから変更)

11日 13:00 共闘 革新懇デー講演蓮池透さん@メモリアルホール

11日 18:30 会議 SKZ 現地広島実行委員会結成総会@平和ビル 5階会議室

13日 21:00 会議 SKZ 事務局会議

16日 19:00 共闘 広島県労連青年部街コン

19日 19:30 会議 SKZ 実行委員会 02

22日 19:00 会議 会員ミーティング 05 @広島共同センター

23日 14:00 共闘 SKZ 実行委員会街宣(シールアンケート)



後記

編集終わりました。…まだ終わってないかもしれませんが。一週間風邪で寝込んで、治ったようなのでこの編集を引き受けたんですが、体力が落ちると集中力も落ちるんですね/とりあえず編集用ソフトに原稿を貼り付けて、それから…それから何日放っておいたことか。何度かソフトを立ち上

げてはみたんですけどね。とはいえやればできるものです/ということで、今回は島本が編集しました。雰囲気が変わって戸惑われる方もいるかもしれませんが、そのせいです/次回は…次回は誰がやるの?とりあえず今回はなんとか(ほぼ)終わりました。皆さんも健康にはお気をつけて。(し)